

たいよう

発行所 太洋基礎工業株式会社
たいよう新聞委員会

最前線レポート

工事件名

令和元年度一災公共土木

施設災害復旧工事

工事場所

長野県佐久市望月

元請業者

北信土建株式会社

施工概要

大型ブロック

約一五〇〇㎡

間知ブロック

約五〇〇㎡

根継ぎ

約三〇〇㎡

堰堤

三カ所

八ヶ岳連峰の北端に位置する
蓼科山から清流を運ぶ五郎兵衛
用水。この用水路は、江戸時代
に市川五郎兵衛真親(さねちか)
翁が、私財を投じて苦勞の末に
整備した用水路で「世界かんが
い施設遺産」にも登録される歴
史的、文化的価値の認められた
用水。この用水を基に開発され
たのが五郎兵衛新田であり、こ
こで生産されるお米を五郎兵衛
米と呼ぶようになりました。

用水路はトンネルを含み約二
〇kmにも及び、距離は縄の長さ
で、勾配はおぼんに溜めた水の
傾き、山中での高さは提灯の灯
りにて、そのようにして高精度
な用水路を完成させました。

「先人の知恵」今を生きる私
たちは、このような方々の苦勞や
努力、失敗や経験の基に生かさ
れているのだと心から思いまし
た。

蓼科山より運ばれた清流と、

声援

浅科の強粘土質な土壌で育った五郎兵衛米は、現在も受け継がれ、粘りと甘みが強く、限定された生産量とその美味さから「幻の米」と呼ばれブランド米としてその名を轟かせています。さて、現場はそんな五郎兵衛用水の取水口がある、鹿曲川での災害復旧工事です。季節になると溪流釣りで賑わい、四季を通して様々な野鳥を目にする延長二七・五km、信濃川水系の一級河川。そんな鹿曲川にも令和元年東日本台風は甚大な被害をもたらしました。本現場はその中の延長約八km区間において災害に遭った一工区の災害復旧工事でした。当社はその中の六工区の施工をさせていただきました。

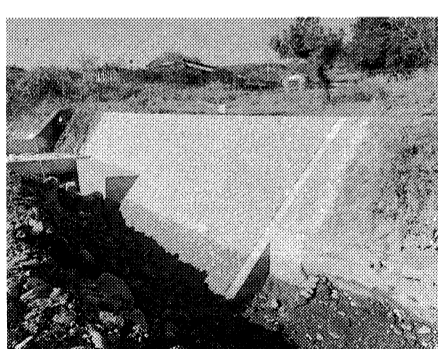
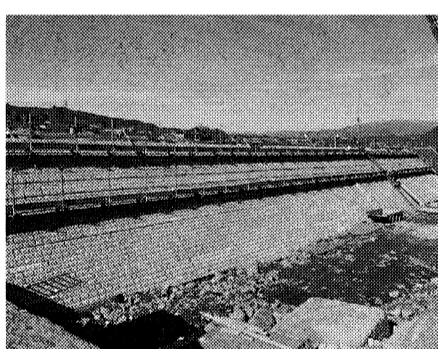
私としては勿論、長野支店としても全てが初めての工種でした。目にする図面、耳にする用語。「夏炬冬扇(かるとうせん)」夏の火鉢のように、二〇年の私の経験はほとんど役にたちそうにない事に、正直不安しかありませんでした。しかし、落ち込んでいる暇はありません。一から出直すつもりでこれまでお世話になった様々な方々に頭を下げ、恥を捨て分らないこと、いや、何が正解かも分からないことを私が納得するまで教えていただく。最初はこんな作業の繰り返しでした。ご教授くださった諸先輩方には感謝してもしきれません。

さて今年も一ヶ月が過ぎようとしていますが、皆様は今年の目標を立てられたでしょうか？人間集団の心理的傾向としてどんなチームのメンバーも三割・四割・三割のグループに分かれるという法則があると言います。これを数字の読み方から「さ・し・み」の法則と言うようです。だいたいこの数値に収まるというので不思議なものです。ここでは「夢や目標を持つている人」と言う基準で分類してみます。まず上位三割くらいの人が「夢や目標を持つている人」で書き表している人は全体の五割くらいで、文字で書くことまではしていませんが周囲に公言している人は残りの二五%くらいです。中間の四割くらいの方は夢や目標を思い描いても、自分の中に留めておくだけの人です。下位三割に至っては、夢や目標を考えない人たちになります。この中で上位三割に属することを願うばかりです。

いざ施工が始まると、あんなに予習してきたのに全然上手にいきません。それどころか日々疑問の連発です。どなたかの歌にもありました、三歩進んで二歩下がる。いや、最初は五歩位下がってしまいました。心が折れそうでした。しかし、二歩下がったって一歩は確実に進んでいる。そう自分に言い聞かせ日々奮闘しました。そうこう現場を進めていく内に、最初に感じていた不安がいつの間にか楽しさ、わくわくに変わっていました。自分の積み上げた努力が確実に形となり、成果として表れ、毎日が楽しく時間を忘れるくらい現場に没頭しました。約一年に渡り現場で息抜く間もないくらい日々施工してきました。真剣になるゆえ衝突することもありました。上手くいかない悔し

さ涙を流す事もありました。しかし、何があっても最後は笑って終われる現場にしたい。そう思い日々、勇往邁進してきました。河川工事に携わる方々には申し訳ないくらいの出来栄だとは思いますが、しかし、私たちは今持っている力を出し切った成果だと思っております。私にこのようなとても貴重な経験の場を与えて頂いた関係者の皆様には、とても感謝しています。自分にとって新たな、そしてとても大きなスキルアップになりました。

長野支店ではこのように、いまままでに経験してこなかった工種の施工が増えてきました。現場の数も非常に多いです。故に皆、息抜く間もなく、不安を抱えながら日々働いています。そんな中でも笑顔忘れれることな



技術立社太洋の施工管理の最重要拠点、神守研究開発センターに備えあれば憂いなし、防災設備が完成しました。五月の創立記念日を迎えるべく、式典は本社にて開催の予定です。

顧問 豊住 満

長野支店 工事部
課長 長島 一徳

名古屋支店 開発部
部長 芦名 武志

建設技術フェアin 中部2021へ出展しました

令和三年二月一四日(火) 一五日(水)の二日間、名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)にて建設技術フェア2021 in 中部が開催されました。当初は一〇月の開催予定でしたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下ということもあり二月延期された開催となりました。若干の不安もありましたが、感染対策を万全にして開催するとの主催者側からの連絡を受け、出展を決めました。



今年の出展企業数は二五四(前年比十三八)、来場者数一四〇五四名(前年比九九四)と幸いコロナ感染者が減少傾向にあったこともあり、予想以上に多くの方々が出展・来場され、昨年よりも活気あふれるフェアとなりました。また今年の出展継続年数が五年となったことで、主催者の継続出展者感謝状贈呈式に招かれ、渡邊執行役員支店長が表彰を受けました。

当社は設計・施工部門で出展し、地中障害物除去を主体とするBG工法(油圧式万能型大口径掘削工法)をメインに、ヒロワークMighty工法(環境配慮型既存杭引き抜き工法)、ミニウォール工法(小規模等厚式地中連続壁工法)、SATコラム工法(スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法)を展示し、初日は約一二〇名、二日目は約一四〇名の方々にお越しをいた

「地盤改良のメカニズム」 社員研修会を開催しました

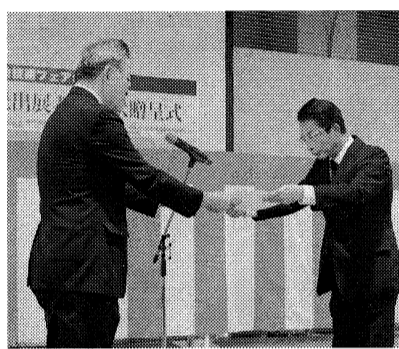
若手社員の知識の向上、技術の向上を目的として社員研修会昨年一二月一〇日にリモート形式で開催しました。参加者については若手社員以外にも復習などを兼ねて自由参加とし、総勢七八名が研修会に参加しました。第一回目が「土の基本」、第二回目が「安全教育」をテーマに開催しましたが、三回目となる今回は講師を、加藤西日本担当業務にお願いして地盤改良のメカニズム「セメントはなぜ固まる?」ことをテーマに行いました。セメントは地盤改良工には欠かせない材料の一つです。セメ

ントの固化作用として、まずセメントの成分のほとんどが粘土と石灰石でできていることや、粘土と石灰石を混合しながら八〇〇℃以上で焼き、その後急冷にて「クリンカー」と呼ばれる黒い塊になります。それを粉砕することでセメントになることを説明していただきました。セメントは、一種の化学薬品であり水を加える事で「水和反応」という化学反応を生じ、熱を発生して固まること。セメント系固化材が地盤改良に適しているのはなぜか。材齢や呼び強度、柱状改良工では土性や含水に大きく影

響を受けるため、あらかじめ室内配合試験により現場強度を確定させておくことの大事さの説明がありました。

参考資料として、ポルトランドセメントや混合セメントの分類にある種類の他に、薬液注入工事で使用する水ガラス系薬液の固化作用についても講話していただきました。

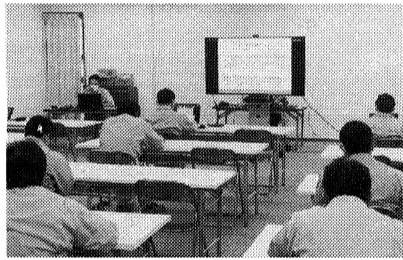
最後に加藤社長より総括をして頂き、研修会は終了となりました。参加者からはレポートを提出してもらいましたがその感想からも、多くの地盤改良に使用される「セメント」を理解し、当たり前と思っていた事もあまり理解していない事も勉強出来たと思います。一つ一つの基礎知識の積み重ねで、土木技術者



名古屋支店 営業部



大阪支店 営業部
部長 廣瀬 雅彦



「SDGs宣言」ホームページ掲載

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、達成に向けた取り組みを行ってまいります。この度ホームページにてSDGsへの取り組みのページを追加いたしました。

当社は経営理念であります「働いて良かったといえる職場づくり」と「社会に存在価値のある職場づくり」の実現を目指し事業活動を行ってまいりました。自然環境の保全や環境にやさしい工事、都市の再開発に対して新工法を独自に研究開発することで今後も社会の発展に貢献してまいります。

SDGs宣言として次に挙げる項目を引き続き取り組んでまいります。

- ・安全な労働環境
施工現場において安全パトロールなどの安全活動を行い、施工現場に携わる者が労働災害ゼロになるよう目標とし、安全・安心の労働環境づくりを行ってまいります。
- ・環境保全
NPO法人沙漠緑化ナゴヤに参画し、中国の黄土高原で植樹活動を行っております。また太陽光発電設備を自社所有地の神守研究開発センターと三重県菰野町に設置しております。
- ・国際協力、国際展開
ベトナム国での洪水被害低減を目的とした防災堤防の早期整備を実現するため、河川掘削泥土再利用システムの普及、実証、ビジネス化事業が国際協力機構様より採択され取り組んでおり

ます。

- ・地域社会への貢献
会社周辺の清掃、近隣公園の清掃活動を毎朝実施しております。また本社近くの公園に防災用の手漕ぎ井戸ポンプを町内会へ贈呈するなど地域防災の強化、その他にも防犯カメラを寄与・設置し、地域の治安維持に貢献しております。
- 経営理念に基づき、持続可能な社会の実現に向けて邁進してまいります。

管理本部 総務部
小崎 賢



共済会だより

☆結婚おめでとうございます
一月一日
藤井 沙也夏(旧姓 金丸)
名古屋支店 開発部

☆退職された職員
お疲れ様でした
二月三十一日
大賀 香月
大阪支店 広島営業所

加藤 勇樹
大阪支店 開発部

安全運転管理者業務 改正について

安全運転管理者の業務として、目視やアルコール検知器を用いた酒気帯びの有無についての確認等を内容とした規定が、令和四年四月一日より順次施行されます。内容については次のとおりです。

- 令和四年四月一日施行
①運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、運転者の酒気帯びの有無を確認すること。
- ②酒気帯びの有無について記録し、記録を一年間保存すること。

令和四年一〇月一日施行
①運転者の酒気帯びの有無の確認を、アルコール検知器を用いて行うこと。
②アルコール検知器を常時有効に保持すること。

こちらのアルコール測定義務化については、皆さんの記憶にも新しいと思いますが、二〇二一年六月二十八日千葉県八街市で発生した白ナンバーのトラック運転手が起した飲酒運転事故により児童五人がはねられ、二名死亡、三名が重傷という悲惨な事故がありました。この様な事故が二度と発生しない様、測定の義務化が施行されます。

現在、飲酒運転による事故は情状酌量の余地がないため基本重罪になりますが、それでも飲酒運転による死亡事故は起き続けています。私も新聞や関係各所紙面でこのような事故を目にする心が痛くなります。飲んだら乗るな、乗るなら飲むなど言うことを昔から耳にしており、運転する皆様もそのことを合言葉としていただき日々安全運転に心掛けてください。

安全環境部
部長 北川 充彦